

語られない紛争地と出会ったとき ——私たちは、何ができるのか

Bangladesh — 政変、総選挙とエスニック・マイノリティ

ニュースで繰り返し報じられる紛争がある一方で、ほとんど報道されず、存在しないかのように扱われる地域があります。 Bangladesh 南東部に位置するチッタゴン丘陵地帯は、その代表的な地域の一つです。昨今の Bangladesh は、政変や総選挙などダイナミックな動きが続いています。一方で、エスニック・マイノリティが直面している現実は、ほとんど語られていません。民族や宗教が異なるというだけで、暴力や抑圧に直面する現実が今日も続いています。

本イベントでは、政変後のチッタゴン丘陵地帯の実態を描いた短編映画上映と対話を通じて、未来の社会のために何ができるかを考えます。



◆チッタゴン丘陵地帯とは◆

Bangladesh 南東部に位置しており、国土の10%を占める地域。11の少数民族が居住しており、文化的にはミャンマーなど東南アジア地域と共通性がある。1970年代から自治や民族の権利をめぐり、半世紀以上にわたる内戦・民族対立が続いている。

第一部：短編映画上映会 & 第二部：トークセッション



映画「 Bangladesh :政変と少数民族」

現地映像やインタビューを通して、政変後のマイノリティが直面するリアルな現実を描いた短編映画。エスニック・マイノリティに対する社会からの認識は依然として限定的であり、脆弱な状況に置かれている実態に迫った。

参加無料・事前申込制

3月28日(土)

10:00~12:00

立教大学 池袋キャンパス

14号館D401教室

講師

稲川望

ジュマ・ネット

2021年より事務局長として、紛争被害児童の教育支援活動や活動家のネットワーク構築等の活動を実施

日下部尚徳

立教大学異文化コミュニケーション

学部：准教授

Bangladesh を中心に貧困、気候変動、児童労働、難民問題に関する調査研究を行う

お申込はこちら

ご登録メールアドレス宛に当日のご案内を差し上げます



または「ジュマ・ネット」で検索